

# 2016年3月期 第2四半期決算 説明会資料

2015年11月9日  
株式会社ビーマップ  
代表取締役社長 杉野文則

  
4316

Copyright © BeMap, Inc.

 **BeMap 会社概要**

- 会社名 株式会社ビーマップ
- 所在地
  - ・本社 〒101-0047  
東京都千代田区内神田2-12-5  
内山ビル4F・5F
  - ・福岡事業所 〒812-0044  
福岡県福岡市博多区千代4-1-33  
西鉄千代田県庁口ビル 3F
- 創立 1998年9月4日
- 資本金 918百万円
- 株式数 3,210,800株  
(うち自己株式972株)  
(1単元 100株)
- 役員 7名
- 従業員 70名  
※2015年9月30日現在
- 加盟団体
  - ・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)
  - ・日本鉄道サイバネティクス協議会(一般社団法人日本鉄道技術協会特定部会)
- 役員
  - 代表取締役社長 杉野 文則
  - 取締役 大谷 英也
  - 取締役 川内 武
  - 取締役 岩淵 弘之
  - 常勤監査役 小山 信行
  - 監査役 小林 義典
  - 監査役 小林 弘樹
- 主な取引先  
NTTブロードバンドプラットフォーム、  
その他NTTグループ各社(NTTルパルク、NTTドコモ、NTT東日本他)、  
ジェイアール東日本企画、  
日本テレビ放送網、テレビ朝日、毎日放送、  
ヤフー、味の素、デンソーコミュニケーションズ、  
シャープビジネスソリューションズ、  
ゼンショーHD、三光マーケティング他

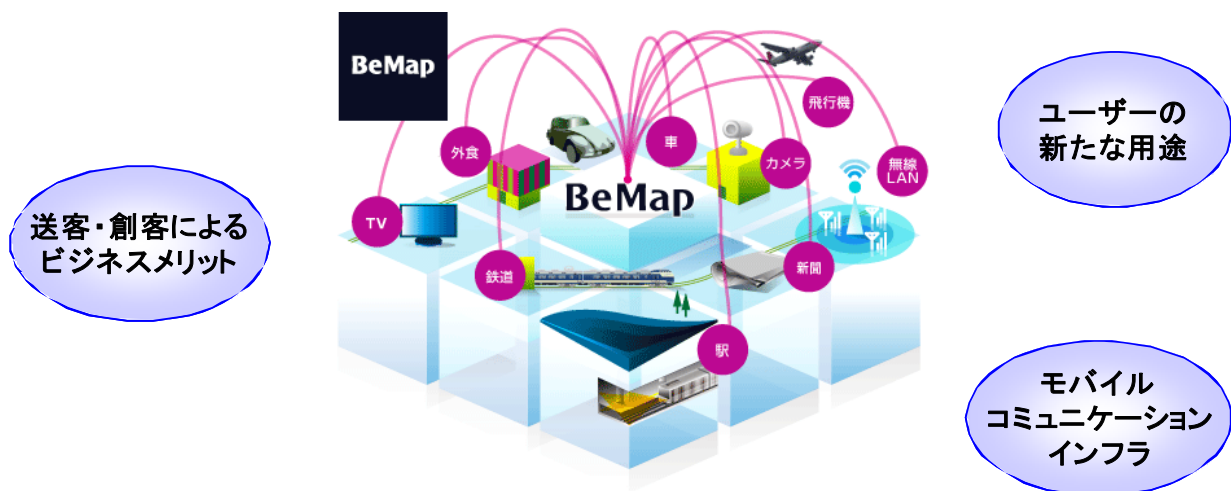
ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする  
ソフトとサービスの提供

*Best Mobile Application Producer*



～社会インフラ間クロスメディアのハブとなる～



当社は創業以来ずっと、モバイル環境とユーザー用途の進化を見据え、  
「近い将来にこうなるであろうITライフ」を創造する先駆者を目指しています。

## 2016年3月期 第2四半期の決算概要

4

### 2016年3月期 第2四半期の業績

(単位:百万円)

	2016.3中間期 (今期実績)	2016.3中間期 (業績予想)	2015.3中間期 (前期実績※)
売上高	441	520	748
営業利益又は 損失(▲)	▲82	10	29
経常利益又は 損失(▲)	▲82	10	30
四半期純利益又 は損失(▲)	▲63	10	13

※前期実績値につきましては、ご参考値として前年の個別決算の数値を記載しております。

#### <第2四半期累計期間 決算のトピックス>

売上高	第1四半期・第2四半期は中小型案件のみ。 新規事業立ち上げに注力したものの、計画値を下回る。
営業損失 経常損失 四半期純損失	大型構築案件の減少による開発効率低下および新規事業立ち上げ長期化、 事業拡大を前提とした人員増による固定費増加、福岡事業所の新規費用など により損失を計上。

5



### 1) 第1四半期および第2四半期とも前期実績より減少

第1四半期 売上高254百万円(前期501百万円)・営業利益△38百万円(同77百万円)  
第2四半期 売上高186百万円(前期242百万円)・営業利益△43百万円(同△48百万円)

※前期実績値につきましては、ご参考値として前年の個別決算の数値を記載しております。  
前期並みの大型案件(クロスメディア・ソリューション)の計上が無く、売上が減少。

### 2) 福岡事業所開設

福岡県をはじめとする九州地区は、IT先端事例への関心が高い。地理的に中国等に近いことから外国人来訪者が多く、インバウンド向けサービスへのニーズも高まっている地域であることから、当社の今後の展開に有意義と考え、4月1日に開設。現在は、開発拠点および同時通訳サービス「J-TALK」業務の一部を実施。

### 3) 子会社「株式会社こんぷりん」設立

4月より提供を開始したコンテンツプリントサービス「こんぷりん」に関わるコンテンツサプライヤーとの折衝や収益配分業務、システム運用等を行うため、5月に設立。



### 4) 株式会社HAROiD(ハロイド)への出資

ハロイドは、日本テレビとバスキュールが設立したスマートテレビ、スマートデバイスをメインフィールドにした事業を推進する合弁会社。  
テレビから店舗へと消費者を誘導するo2o2oサービスに今後さらに注力すべく出資を実施。通信・流通・外食・交通等の社会インフラとの融合分野において積極的に協力し、当社のノウハウを活かしたテレビを起点とした生活導線に直結したサービスの企画・構築を目指す。

### 5) その他新規事業

- ・テレビ情報検索システム”MetaTV”とテレビ全録機”ガラポンTV”の連携システムの営業を開始。
- ・安価にご利用いただける簡易無線LANサービスの提供を開始。



# BeMap 2016年3月期 第2四半期の業績(貸借対照表)

※ご参考値として前期・前々期の個別BSの数値を記載しております。

(単位:百万円)

## 2014.3期(個別)※

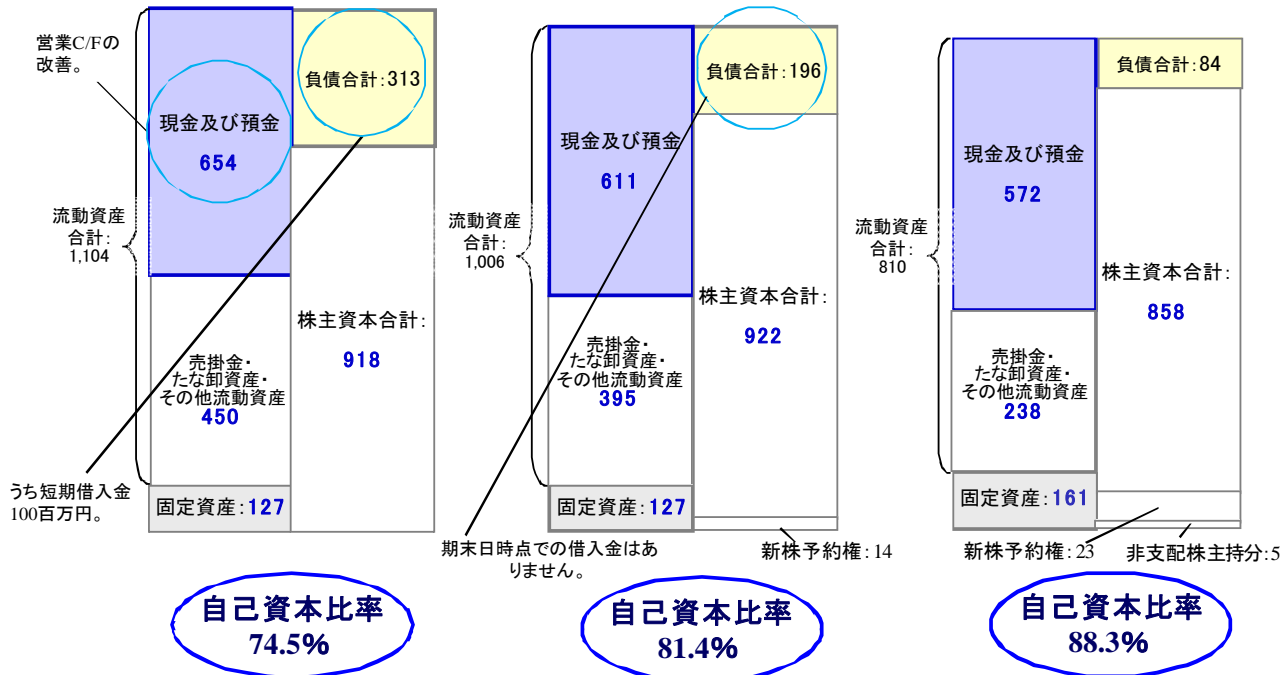
資産合計/負債純資産合計:1,232

## 2015.3期(個別)※

資産合計/負債純資産合計:1,133

## 2016.3期第2四半期(連結)

資産合計/負債純資産合計: 972



BeMap Confidential Proprietary



# BeMap セグメント別業績一覧

クロスメディア事業分野は大型構築案件の受注が減少、ソリューション事業分野は新規事業立ち上げが長期化し、減収減益。

(単位:百万円)

	クロスメディア事業	ナビゲーション事業	ソリューション事業	調整額※	合計
売上高	296 (541)	64 (63)	79 (139)	—	441 (743)
営業利益又は損失(▲)	16 (+113)	7 (+4)	▲57 (▲42)	▲47 (▲45)	▲82 (29)

※ 「調整額」には、各事業分野に配賦していない全社経費を含みます。

( )内は前年同期(H27.3期2Q末)の数値を示します。

なお、前年同期の数値につきましては、ご参考値として前年の個別決算の数値を記載しております。



### クロスメディア事業分野

売上高296百万円(前年同期541百万円)・営業利益16百万円(同113百万円)

- ①中小規模案件、保守・運用案件は予定通り進捗したものの、大型案件減少による開発効率の悪化・人員増で営業利益が悪化。売上高については計画通り推移したが、営業利益は悪化し、仕掛の減少により、前年同期比で、減収、減益。
- ②簡易無線LANサービスの提供を開始。引き続き、積極的に提案していく。

### ナビゲーション事業分野

売上高64百万円(前年同期63百万円)・営業利益7百万円(同4百万円)

- ①前年同期比で売上・利益とも横ばい。
- ②交通系ICカードに関わる分野への取り組みに注力したが、収益への貢献は小規模に留まり計画を下回る。

※前年同期の数値につきましては、ご参考値として前年の個別決算の数値を記載しております。  
また、営業利益は、全社経費を除いた数値を記載しております。



### ソリューション事業分野

売上高79百万円(前年同期139百万円)・営業損失57百万円(同42百万円)

- ①インバウンド向けソリューションとして、同時通訳サービス「J-TALK」の立ち上げに注力、第3四半期以降スタートへ。全体として開発効率の悪化、人員増の影響により前年同期比で減収、減益。
- ②映像配信システム事業については、従来大きな比率を占めていた飲食店向け案件が大幅に減少、回復には至っておらず。
- ③TVメタデータのASP事業については、テレビ情報検索システムとテレビ全録機の連携システムをガラポン株式会社と共同開発し、営業を開始するなど新たな動きあり。下期以降、損益改善へ。
- ④前期の大型案件であった医療事業者向け案件の継続開発が中断中。
- ⑤o2o2o事業については、放送局からメーカー・流通などをカバーする新しい事業分野。株式会社HAROiDへ資本参加し、関連案件の受注に向けて取り組み中。
- ⑥コンテンツプリント事業については、今後コンビニへの送客という観点で様々なテーマに取り組む予定。
- ⑦収益が低下していた古地図復元サービス「今昔散歩」については、9月末をもってコンシューマ向けの提供を終了。

※前年同期の数値につきましては、ご参考値として前年の個別決算の数値を記載しております。  
また、営業利益は、全社経費を除いた数値を記載しております。

## 分野別事業分野


**BeMap** ビーマップ事業分野の全体構成

## ビーマップの事業分野

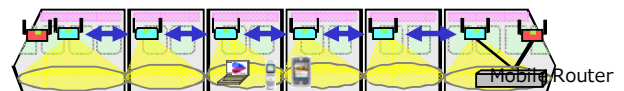
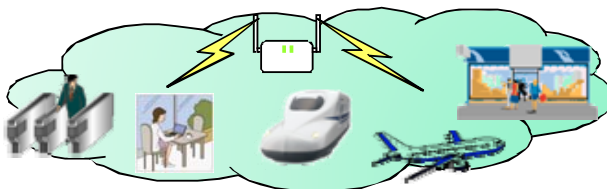
事業セグメント	事業分野	業務内容	事業展開状況
クロスメディア	無線LAN配信 インフラ構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線LANホットスポットにおけるコンテンツ配信インフラを開発・提供するサービス、業務用パッケージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン等無線LAN機器の普及で事業拡大を目指す</li> </ul>
ナビゲーション	交通関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道等交通機関の乗り継ぎ(経路探索)技術の提供</li> <li>JR東日本予約サイト(えきねっと)への提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「えきねっと」を中心とした開発・運用</li> <li>Wi-Fiとの連携により横展開</li> </ul>
ソリューション	監視録画システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ付携帯電話への画像転送システムの開発・運用保守</li> <li>遠隔カメラ監視のASPサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング倶楽部を営業展開</li> </ul>
	TVメタデータのASP事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV番組メタデータのASPを構築しbtoBへの展開はかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ局、広告代理店、PCメーカー、ECサイト等へ提供。テレビ局との事業も拡大</li> </ul>
	コンテンツプリントサービス (こんぷりん)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドルやキャラクターなど、さまざまなジャンルのカレンダーやプロマイドをコンビニのコピー機で手軽に購入できるサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国のコンビニ(サークルK、サンクス、セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン)にてサービス提供中</li> </ul>
	同時通訳サービス (J-TALK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone/iPad対応の顔が見えるクラウド型同時通訳サービス (Androidは 近日中の対応予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月より「J-TALK Business」の提供開始 「J-TALK Travel」は現在準備中</li> </ul>

# クロスメディア事業

## BeMap クロスメディア事業の内容①

### ビーマップ 無線LAN 関連事業

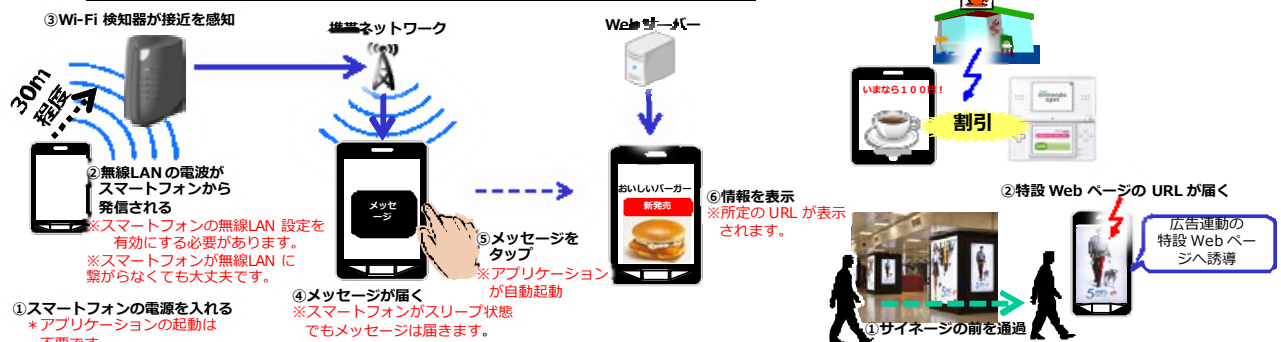
- 無線LANのプラットフォームの企画、開発、運用。無線LAN APを通じた、情報配信の提供。
- 人口集中地域における通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツの配信を行う。通信事業者、鉄道事業者他を通して展開。



つくばエクスプレス、新幹線では列車内でも提供

※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食にて展開

#### ■ 無線LANを活用したPush型コンテンツ配信システム

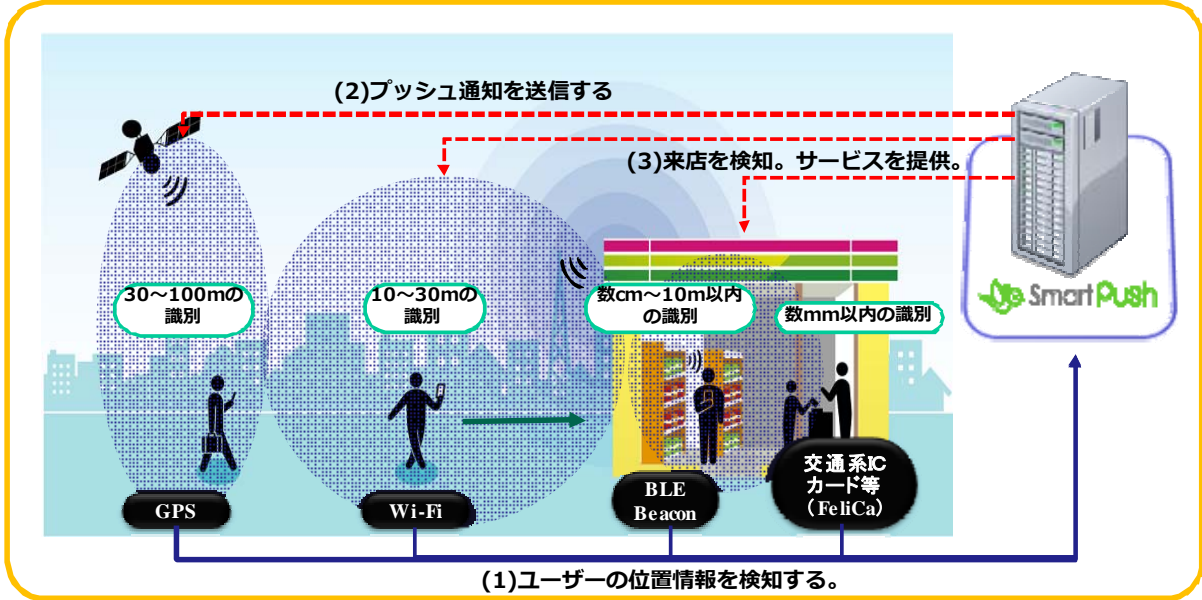






GPS/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) を複合的に活用できるサービスプラットフォームを提供

- GPS/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) 等、様々な位置情報、配信に関する技術を複合的に連携させながら提供できるプラットフォームを提供可能。



ナビゲーション事業



# ナビゲーション事業

## 事業概要

- 経路探索ソフト、トラベルナビゲータの技術・ノウハウをベースにした
  - ・JRインターネット予約サイト「えきねっと」の構築・運用
  - ・駅周辺ビジネス、列車内サービスの企画・構築・運用
  - ・交通系ICカードを活用したサービスの企画・構築・運用

### えきねっと

JR東日本の列車予約サイト「えきねっと」向け開発



### 交通系ICカードを活用したビジネス



### 駅・列車内ビジネス



### 送客・創客ビジネス



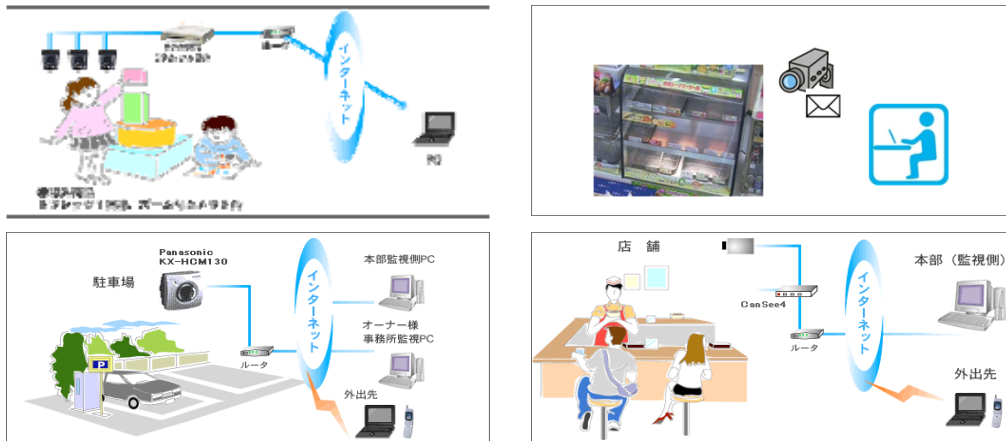
# ソリューション事業

モニタリング

事業概要

- インターネット／ウェブカメラを活用し遠隔地を監視するシステムを提供。大手飲食店、コンビニ等へ導入。
- 監視から、画像解析により店舗ソリューションへ展開。商品陳列、商品の欠品を自動解析しビジネスチャンスのロスを減らします。

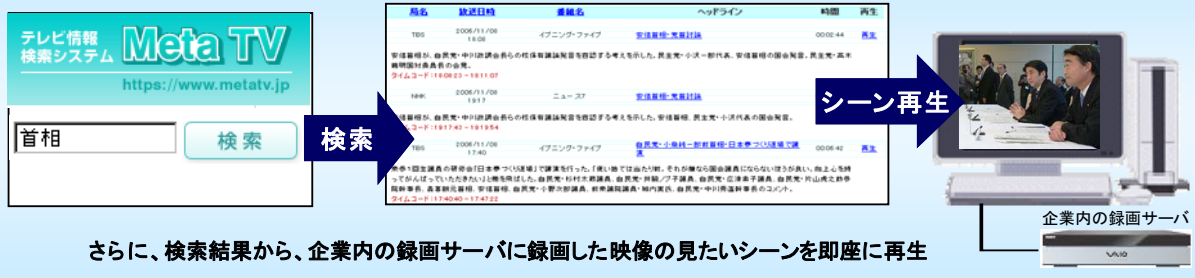
モニタリングイメージ図



-TVメタデータ-

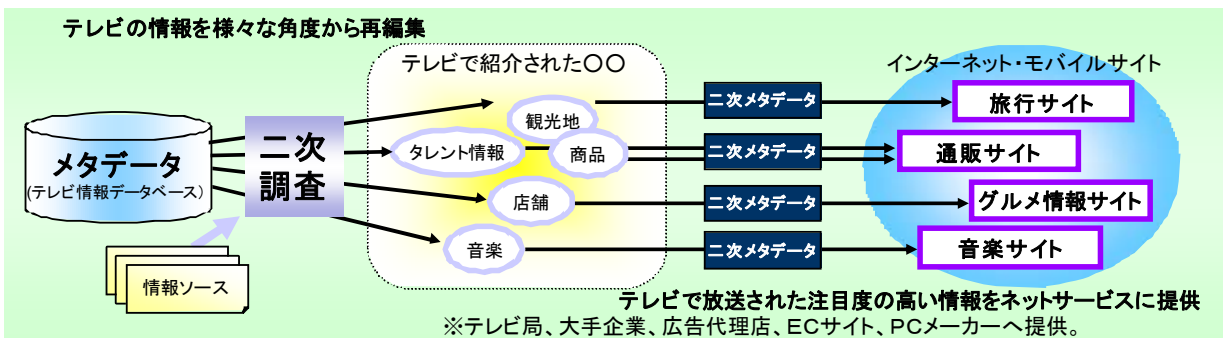
- テレビ番組の放送内容をデータベース化 ⇒ テレビ情報検索サービス「MetaTV」

テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供

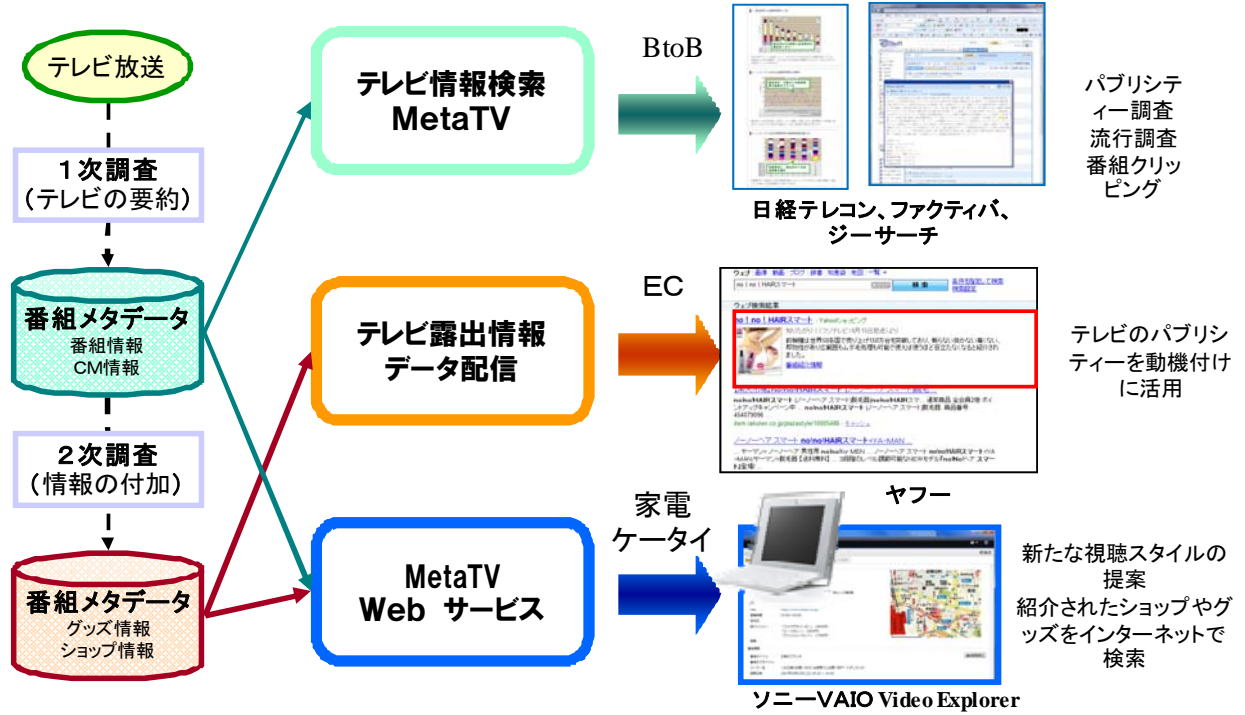


さらに、検索結果から、企業内の録画サーバに録画した映像の见たいシーンを即座に再生

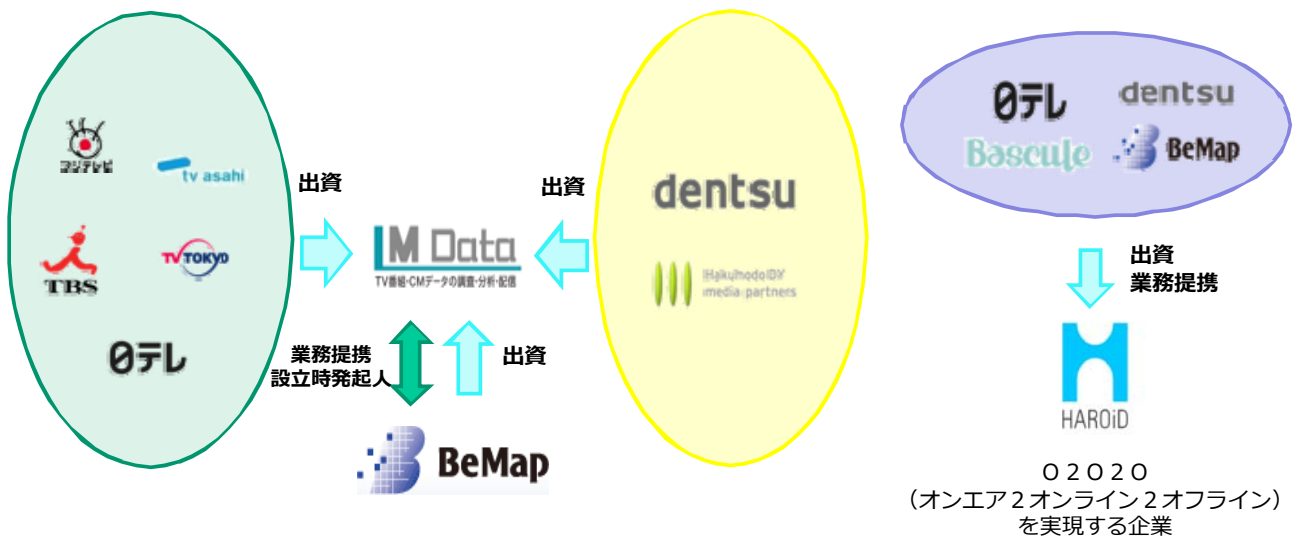
- テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」



提供するTVメタデータサービス 例



テレビ関連出資に関して当社の立ち位置



コンビニのマルチコピー機を活用したコンテンツプリントサービス

- ビーマップは、コンテンツのプラットフォームとして、コンテンツ集めからシステム開発、コンテンツ編集、配信までを行っています。



共同事業体として 告知プロモーション・イベントの実施

こんぷりんWebサイト <http://www.conprin.com/>

コンテンツ事例

- AKB48/乃木坂46 (期間限定企画)
- グラビアカレンダー
- 漫画キャラクターカレンダー

もう外客対応で困らない！必要な時、必要な分だけ利用できるクラウド型 同時通訳サービス

- 「J-TALK」は、iPhone/iPad/Android対応の顔が見えるクラウド型同時通訳システムです。



困ったらアプリをポンと起動！いつでもどこでもすぐつながる

何を言っているのか分からない…  
言葉が分らず伝わらない…

こんな時は「J-TALK」に接続！  
いつでも通訳してくれる！

利用者画面イメージ(アプリ)

<J-TALK対応機器>

- ① iPhone/Android  
タブレット端末もしくはスマートフォン  
※Androidは 近日中の対応予定
- ② インターネット回線  
(無線LAN回線、または4G・LTE回線)

他社の通訳サービス

コールセンター方式

@コールセンター

- … 一か所に集まって、通訳サービス提供
- … 深夜対応でコスト増、原価増
- … 繁盛期はつながりにくく、閑散期の通訳者確保のためのコスト増
- … 結果、料金が高くなり、閑散期は体制維持困難

つながりにくい 料金が 高い

J-TALKの通訳サービス

コールセンター方式

@J-TALKコールセンター

- … 二重方式で余計なコストがかからない
- … 一か所に集まらず、遠隔で通訳サービス提供
- … 通訳者の評価システムで料金を抑える(能力のある主婦、学生層を雇用)
- … 自宅にいながらにして通訳の仕事ができるので、多くの通訳者が待機状態にあり、繁盛期もつながる

在宅バイリンガル方式

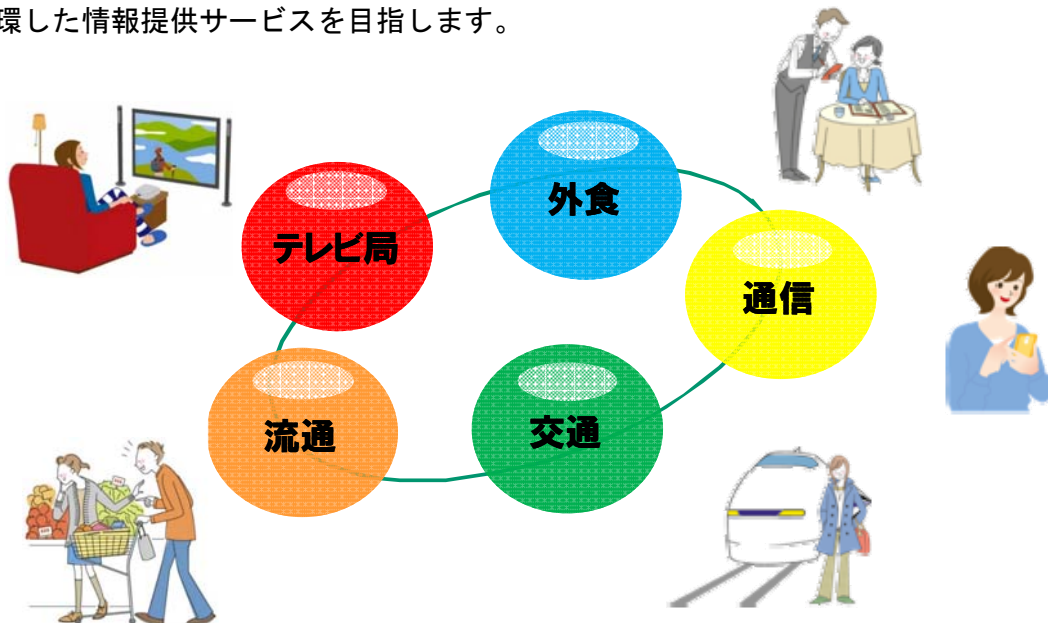
@HOME @学校 @出先

つながりやすい 料金が 安い

## ビーマップが今後目指す分野

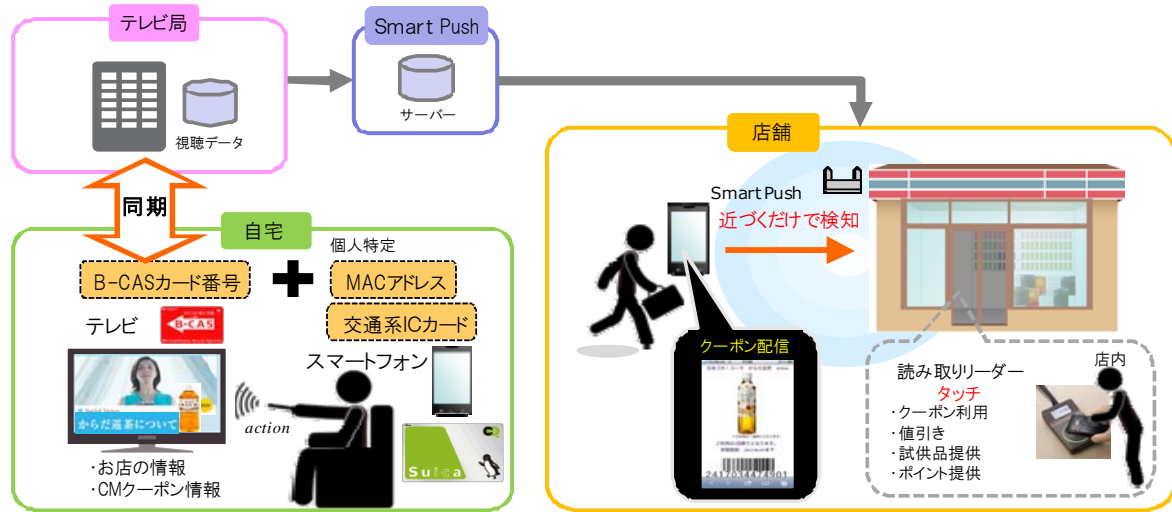
## 異業種連携により新たな事業を創造

各業界のトップ企業をITで繋ぐ事により、新たな事業分野を創造します。利用者の生活シーンの様々な場所で「利用者にとって役に立つ情報」を提供し、一環した情報提供サービスを目指します。



## テレビ視聴とWi-Fi・交通系ICカードを活用したサービス

家庭内のテレビの視聴データと、お手持ちのスマートフォンを事前登録で紐づけておくことで、テレビで放送された番組やCMなどの情報にアクションしておくことにより、スマートフォン、交通系ICカードで店舗においてクーポンやお得なサービスが自動配信されます。  
 ・2014年度総務省所管事業「スマテレ・アプリ効果検証」事業に類似システムが採択されました。  
 →採択内容「交通ICカードと連動した各種情報をテレビ画面上に表示」



## インバウンド（訪日外国人需要）の取り込みと当社の立ち位置

### 訪日外国人の3大不満

交通機関の使い方が分かりにくい

公衆無線LANを使える環境が少ない

コミュニケーション（言葉）できない

▶ ナビゲーション事業

▶ クロスメディア事業

▶ ソリューション事業

(新規事業：通訳サービス)

### 「インバウンドのビーマップ」へ

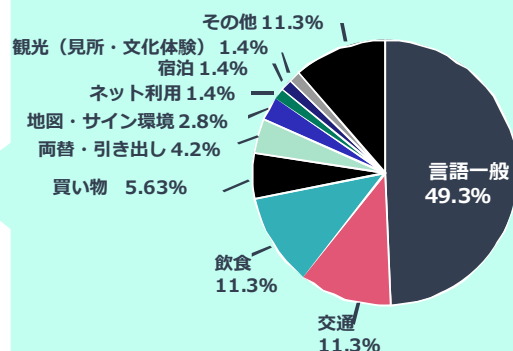
全てを提供できる優位点を生かし、事業間連携を深めてインバウンド需要を取り込んでまいります。

### 外国人旅行者が旅行中に困ったこと


1位	無料の無線LAN環境（無料Wi-Fi）	36.7%
2位	コミュニケーション	24.0%
3位	交通機関の情報入手	20.0%

平成23年 観光庁発表

### コミュニケーションに困った場所・場面



## 2015年3月期 業績予想


**BeMap** 2016年3月期の業績予想と進捗状況①
 

---

(単位:百万円)

	2016年3月期 予想(A)	同1Q+2Q 実績(B)	差異 (A-B)	2015年3月期 実績※
売上高	1,440	441	999	1,283
営業利益	55	▲82	137	35
経常利益	55	▲82	137	37
純利益	45	▲63	108	3

※ 2015年3月期実績値は、ご参考値として個別決算のデータを記載しております。





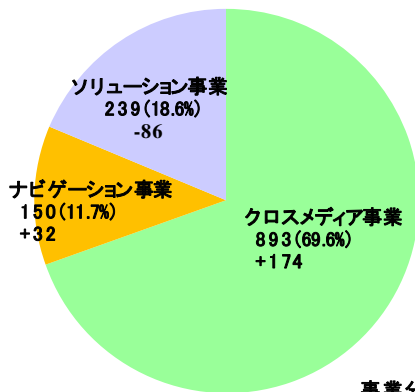
売上高	<p><b>クロスメディア事業:</b> 運用保守、中小規模案件に着実に対応。簡易無線LANを自治体・商店街・宿泊施設などを主ターゲットに販売を強化。また、現在提案・商談中の構築案件について受注を目指す。</p> <p><b>ナビゲーション事業:</b> 既存のえきねっと案件に着実に対応。交通系ICカード案件に注力し、計画値の達成を目指す。</p> <p><b>ソリューション事業:</b> o2o2o事業について年度内にモデルケースの実現。コンテンツプリント事業は販促(送客)ツールとしての収益拡大を目指す。同時通訳サービスについては鉄道会社・大型施設など大口顧客を獲得、収益基盤を固める。</p> <p><b>当社グループ共通:</b> インバウンド需要の取り込みと当社独自事業への転換に注力。</p>
営業利益 経常利益	<p>新規事業の簡易無線LANサービスや同時通訳サービスなどの独自サービスへの事業転換に取り組む。当社主導の事業を着実に進め、売上の平準化・安定化を目指す。</p>
純利益	<p>繰延税金資産は、3Q以降計画通り進捗した場合は、四半期毎に取り崩し、期末に2017.3期及び中期見通しを踏まえて再算定する予定。</p>



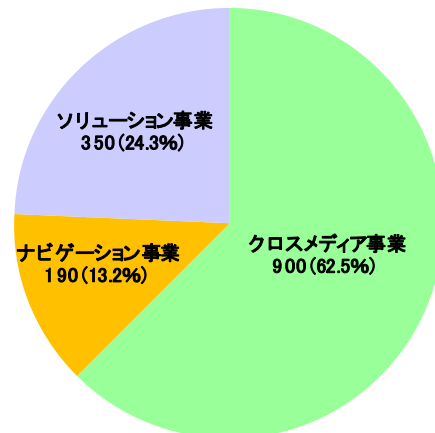
BeMap 事業セグメント別売上構成比(見込み)

前期に引き続き、クロスメディア事業が売上の大きな割合を占める予定だが、ソリューション事業を中心に新サービス立ち上げに取り組む。

2015年3月期(個別)※  
売上合計1,283百万円



2016年3月期(連結)(見込)  
売上合計1,440百万円



対比

事業分野名称  
売上高(構成比率)  
セグメント利益  
(単位:百万円)

※2015年3月期は、ご参考値として個別決算のデータを記載しております。

## 中期3カ年の経営目標

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績(個別)※	2016年3月期 予想(連結)	2017年3月期 目標	2018年3月期 目標
売上高	1,283	1,440	1,490	1,540
クロスメディア	893	900	920	940
ナビゲーション	150	190	200	210
ソリューション	239	350	370	390
営業利益	35	55	65	75
経常利益	37	55	65	75
当期純利益	3	45	55	65

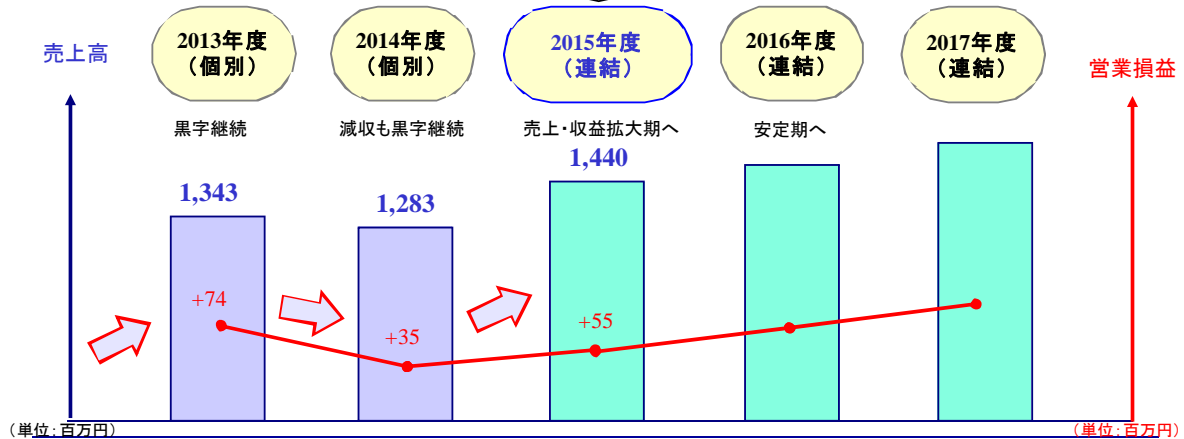
※ 2015年3月期は、ご参考値として個別決算のデータを記載しております。



2015年度 = 営業提案力・開発力強化、運用・ライセンスの強化、当社独自の  
新規事業

前年度の反省を踏まえ、  
受注増・高品質・高利益率を追求する取り組み

- ・受注増に向けた顧客に対する営業力強化
- ・安定した利益確保に向けた人員スキル向上
- ・工程・品質管理の徹底、開発スタッフの効率的活用
- ・サービス、ライセンスを中心とした収益モデルへ



BeMap Confidential Proprietary



本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル4F・5F  
経営管理部 IR担当 (大谷)

BeMap Confidential Proprietary